

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題  
(令和8年1月21日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から16の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を( )内に記入しなさい。

問題1 (運行管理者の業務)

運行管理者は、荷主に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

問題2 (選任届)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任(変更)したときは、その日から30日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。(道路運送車両法)

( )

問題3 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、その業務を行う場合には、運転日報に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題4（輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題5（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、一般貨物自動車運送事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題6（業務等の記録）

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車に係る運転者の業務について、当該業務を行った事業用自動車ごとに必要な事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題7（事業の譲渡し及び譲受け等）

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けは、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題8（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させてはならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 9 (運転者)

運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に一般貨物自動車運送事業者に出なければならぬ。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

問題 10 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の効率向上に努めなければならぬ。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

問題 11 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならぬ。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 12 (過労運転の防止)

運行管理者は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の運転者を常時選任しておかなければならぬ。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

問題 13 (定義)

貨物自動車運送事業法において、「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車(三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を含む。)を使用して貨物を運送する事業をいう。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 1 4 (運賃及び料金等の掲示)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金、運送約款を事業用自動車内において公衆に見やすいように掲示しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 1 5 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

事業者は、私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

( )

問題 1 6 (点呼等)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の業務に従事しようとする運転者及び運行の業務を終了した運転者に対する点呼において、運行管理者(補助者)の勤務時間等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

II. 次の問題 1 7 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 7 (事故の記録)

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項で正しい事項には○を、そうでない事項には×を( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 事故発生当時の天候
- イ. 事故の発生日時
- ウ. 事故の発生場所

ア ( ) イ ( ) ウ ( )

問題 1 8 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息时间及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。①～⑦から正しいものを選び( )内に記入しなさい。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 拘束時間は、1箇月について( )を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、( )を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続( )以上の休息期間を与えるよう努めること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり( )、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、( )を超えないものとする。

- ① 4時間      ② 9時間      ③ 11時間      ④ 13時間
- ⑤ 16時間      ⑥ 284時間      ⑦ 300時間

問題 1 9 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を、決められた時期に提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び、記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ア. 前年1月1日から12月31日までの期間に係るものを毎年3月31日まで
- イ. 前年10月1日から9月30日までの期間に係るものを毎年12月31日まで
- ウ. 前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを7月10日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年7月10日まで
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後100日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後120日以内

- ①事業報告書 ( )      ②事業実績報告書 ( )

問題 2 0 (法人の合併又は分割の認可の申請)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として正しいものを1つ選び( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 合併又は分割の契約日
- イ. 合併又は分割の方法及び条件
- ウ. 合併又は分割の計画日

( )

問題 2 1 (定義)

自動車事故報告規則における「事故」について、( )にあてはまる語句を下のア～エの中から選び記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ①. 自動車が( )し、転落し、火災(積載物品の火災を含む。)を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、もしくは接触したもの。
- ②. 死者または( ) (自動車損害賠償保障法施行令第5条第2号又は第3号に掲げる傷害を受けた者をいう。)を生じたもの。

- ア. 故障
- イ. 転覆
- ウ. 後遺症
- エ. 重傷者

問題 2 2 (運送約款の記載事項)

次のうち、運送約款に記載しなければならない事項として正しいものを1つ選び( )内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運送の引受けに関する事項
- イ. 事業用自動車に関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項

( )

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題 (解答)  
(令和8年1月21日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から16の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を( )内に記入しなさい。

問題1 (運行管理者の業務)

運行管理者は、荷主に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項)

(正) 運転者に対して

( × )

問題2 (選任届)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任(変更)したときは、その日から30日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。(道路運送車両法第52条)

(正) 15日以内

( × )

問題3 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、その業務を行う場合には、運転日報に定めるところに従わなければならない。(貨物自動車運送事業法第8条第1項)

(正) 事業計画

( × )

問題4（輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。（貨物自動車運送事業法第21条）

（ ○ ）

問題5（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、一般貨物自動車運送事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第27条）

（正）事業計画等

（ × ）

問題6（業務等の記録）

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車に係る運転者の業務について、当該業務を行った事業用自動車ごとに必要な事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第8条第1項）

（正）運転者ごとに

（ × ）

問題7（事業の譲渡し及び譲受け等）

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けは、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法第30条第1項）

（正）認可

（ × ）

問題8（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させてはならない。（貨物自動車運送事業法第28条第1項）

（ ○ ）

問題 9 (運転者)

運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に一般貨物自動車運送事業者に出なければならぬ。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 17 条)

( × )

問題 10 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の効率向上に努めなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 2 条の 2)

(正) 輸送の安全性の向上

( × )

問題 11 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法第 16 条第 1 項)

(正) 運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから

( × )

問題 12 (過労運転の防止)

運行管理者は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の運転者を常時選任しておかなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 3 条第 1 項)

(正) 一般貨物自動車運送事業者等

( × )

問題 13 (定義)

貨物自動車運送事業法において、「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車(三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を含む。)を使用して貨物を運送する事業をいう。(貨物自動車運送事業法第 2 条第 2 項)

(正) 除く

( × )

問題 1 4 (運賃及び料金等の掲示)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金、運送約款を事業用自動車内において公衆に見やすいように掲示しなければならない。(貨物自動車運送事業法第 1 1 条)

(正) 主たる事務所その他の営業所において

( × )

問題 1 5 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

事業者は、私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第 3 条)

( ○ )

問題 1 6 (点呼等)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の業務に従事しようとする運転者及び運行の業務を終了した運転者に対する点呼において、運行管理者(補助者)の勤務時間等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 7 条第 1 項)

(正) 運行上やむを得ない場合を除き、対面で点呼しなければならない

( × )

II. 次の問題 1 7 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 7 (事故の記録)

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項で正しい事項には○を、そうでない事項には×を( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 9 条の 2)

- ア. 事故発生当時の天候
- イ. 事故の発生日時
- ウ. 事故の発生場所

ア ( × ) イ ( ○ ) ウ ( ○ )

問題 18 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息时间及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。①～⑦から正しいものを選び( )内に記入しなさい。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第4条第1項)

- ア. 拘束時間は、1箇月について( ⑥ )を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、( ④ )を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続( ③ )以上の休息期間を与えるよう努めること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり( ② )、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、( ① )を超えないものとする。

- ① 4時間          ② 9時間          ③ 11時間          ④ 13時間
- ⑤ 16時間          ⑥ 284時間          ⑦ 300時間

問題 19 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を、決められた時期に提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び、記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則第2条第1項)

- ア. 前年1月1日から12月31日までの期間に係るものを毎年3月31日まで
- イ. 前年10月1日から9月30日までの期間に係るものを毎年12月31日まで
- ウ. 前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを7月10日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年7月10日まで
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後100日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後120日以内

- ①事業報告書          ( オ )          ②事業実績報告書          ( ウ )

問題 2 0 (法人の合併又は分割の認可の申請)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として正しいものを1つ選び( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第18条第1項)

- ア. 合併又は分割の契約日
- イ. 合併又は分割の方法及び条件
- ウ. 合併又は分割の計画日

( イ )

問題 2 1 (定義)

自動車事故報告規則における「事故」について、( )にあてはまる語句を下のア～エの中から選び記入しなさい。(自動車事故報告規則第2条)

- ①. 自動車が( イ )し、転落し、火災(積載物品の火災を含む。)を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、もしくは接触したもの。
- ②. 死者または( エ ) (自動車損害賠償保障法施行令第5条第2号又は第3号に掲げる傷害を受けた者をいう。)を生じたもの。

ア. 故障    イ. 転覆    ウ. 後遺症    エ. 重傷者

問題 2 2 (運送約款の記載事項)

次のうち、運送約款に記載しなければならない事項として正しいものを1つ選び( )内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第10条)

- ア. 運送の引受けに関する事項
- イ. 事業用自動車に関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項

( ア )

貨物自動車運送事業法令試験実施結果  
(令和8年1月)

中部運輸局

令和8年1月21日

	受験者数	合格者数	合格率
中部運輸局	50	45	90.0%